

2009 夏休み親子 身近な秘境・奥只見
「自然と電気」体験学習ツアー

楽しく学んだ「エコ×エネ」

～Jパワー 探検したよ、ダムと森と湖と～

夜空の星がこんなにいっぱいあるなんて、ダムの底がこんなに深いなんて。新潟・福島両県にまたがる奥只見に、日本一の規模を誇る奥只見水力発電所。7月27、28日の両日、Jパワー（電源開発）が社会貢献活動の一環として、「身近な秘境・奥只見「自然と電気」体験学習ツアー2009」を行った。参加者は親子26人。ダムの見学や育空実験教室、自然に直接触れる体験型学習を通じて、電気と自然のつながりを楽しんだ。ダムに、森に、夜空の美しさに、参加者からは歓声が上がっていた。

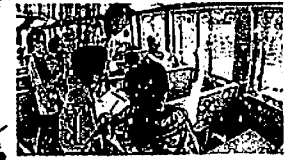


奥只見の 大バツラマ体験

27日午前11時、新幹線浦佐駅に全員集合。さあ、秘境・奥只見への出発だ。バスに乗り込み、銀山平へ向か。シルバーラインの長い、長いトンネルがうんと探検気分を盛り上げる。探検ポイントに乗り換え、向かうは奥只見ダム。ダム湖の大きさにはみんなびっくり。そのダム湖を造った重力式ダムの大きさにはもっとびっくり



ダムって
大きい



りだ。ダムの上を歩いて行くと思いが引かれていた。なんと向こうは福島県、こっちは新潟県の県境だった。県境前にあるエレベーターに乗って地下11階へ。エレベーターはどんどん下ってゆく。さあ、ダムの最深部だ。ひんやり、入り口脇の温度計が10度を指しているのを見つけて「うー、すごい、寒い」と声を上げる子も。どこまでも続くコンクリートの通路を抜けると、びっくりするほど広いところに出た。高さ20メートル、縦240メートル横20メートルの発電機室

だった。4台の巨大発電機がでんと座っている。4号機が発電していたがびっくりするほど静かだ。みんなで手で触って「ぶるぶる」と発電する感触を確かめた。



次はダム以外の放水路に出た。ダムを下から見上げると、「で、で、で、で、で」と一斉に声が上がると、その圧倒的迫力に、目を見合わせる親子もいた。

五感を使って 自然を体験

夜の部のメインは「ナイトハイク」。五感で楽しむ夜のお散歩だ。生き物を驚かせないように懐中電灯も使わず、林を抜け広場に出る。そこでみんなで寝ころがってしばらく夜空を見上げる。降ってくるような星空。すうと星が流れた。「流れ星だっ」「初めて見た」。歓声が上がる。

2日目。早朝の散歩に続いて、銀山平のブナの森を体験するツアーに出発。目をつぶって前の人の肩に手を置き、「イモムシ」になって森を歩く。風を、光を強く感じる。足の裏からは

大地が、ブナの葉っぱの柔らかさが伝わってくる。ひんやりしたブナの幹にほっぺたをつける。枯れ葉で枕を



作りみんなで寝ころんだ。「なんだか、気持ちがおぼろげだね」。子どものひとこと、うん、うんとうなずくお母さんもうれしそうだ。

森がはくくむ 電気のコト

森の中で、ペットボトルと水、それに磁石でダムの水力発電を再現する「育空実験教室」も開かれた。ブナの



森と水とダム湖がつながっていること。その水を使ってダムで発電した電気を使って便利に暮らしていることに気づき、みんなの目が輝いた。「エコとエネの深い関係」を学んだ2日間の旅だった。

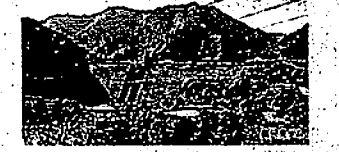
エコ×エネって何?



- ・ツアーキャップ
- ・藤木 勇光
- ・（あじき、ゆうこう）
- ・Jパワー社会貢献課副課長

Jパワーは、全国各地の水力、石炭火力発電所などで発電し電力会社に電気を卸売しています。1952年に設立され、半世紀以上も電気をつくっています。エコが専門の財団法人キープ協会と、エネルギーが専門のJパワーがお互いの強みを生かし「協働」してこのツアーを実施しました。みなさんが心豊かに暮らすのに必要なエネルギーとエコロジーの関係を、大自然の中で五感をフルに使って、感じ、考えた体験学習ツアーです。

奥只見ってどんなところ?



丹波が来ると思い出す 透かな霞 遠い空。ミスパショウと広大な美しい湖原で知られる奥只見湖と奥只見川を、せき止めて造られたのが奥只見発電所です。奥只見湖は人造湖としては日本最大級（奥只見ダムの3倍）。新潟・福島両県にまたがる、手つかずの自然いっぱいこの一帯を奥只見といえます。新潟県からは全長22キロ、うちトンネルが18キロの奥只見シルバーラインで、この道はダム工事用道路でした。ダムの底には、発電所の仕組みや歴史を学べる「奥只見電力館」があります。

【電力館】11月中旬まで延長（午前9時～午後4時30分）
TEL 025-795-2059 入館無料

J POWER
電源開発株式会社
〒104-8165 東京都中央区西四郎6-15-1
TEL 03-3546-2211

気持ちがいいね